



そもそもなぜ議員になろうと思ったの？

私も以前は県外に出ていましたが、長崎に帰ってこれで生活できる幸せを実感しています。仕事さえあれば長崎に戻ってきたいと思っている県外で暮らす多くの若者がいます。また、子どもを育てるならふるさと長崎でと思っている人も多くいます。だから彼らが戻って来れるように仕事を作りたい。それが議員を目指した一番の理由です。



男性議員が子育て支援って珍しいですね。

長崎に帰ってきたいと思っている人はたくさんいますが、長崎には仕事がないのが現状です。しかし、仕事を生み出すことは市議として(市の行政としても)限界があり時間もかかります。一方私にもすぐにできることがありました。それは「長崎を子どもが育てやすく、育ちにいい町」にしていくこと。これまでも、子どもに関する施策に取り組んできました。



そこで以下のことを実現してきました。

### 子育て支援

- 乳幼児医療費補助の支給年齢の拡大(3歳→小学校就学前)
- 乳幼児医療費の立替払いなし(H19年)
- 子どもへの新型インフルエンザワクチンの2回目接種の無料化
- 子育て支援センターの設置(H18年に4ヶ所、現在10ヶ所)
- 小中学生への防犯ベル貸与
- 市役所内に「こども部創設」(H18年)
- 軽度発達障害児の学童期での療育(H20年)
- こども基金の創設(H21年)
- 幼稚園での預り保育への補助(H21年)

女性が働きやすい環境づくりにも取り組んできました！

#### 女性の社会進出、就業支援

- 保育所施設の整備促進
- 学童施設の学校敷地内整備の促進(H19年～)
- 学童の今後のあり方について、お母さん達の負担軽減と指導員の育成を主に答申をまとめた
- 4時間勤務の嘱託職員採用

#### 女性の健康

- 女性の乳がん検診、40歳以下についても補助拡充
- 不妊治療に対する助成
- 妊産婦歯科保健指導や歯育で管理支援事業等、歯科における子育て次世代育成事業の継続



子育て支援や女性の社会進出などを広げた実績がありますが、これからの課題や目標は何ですか？

子育て支援もさらに充実していきたい。私にできることがまだまだあると思っています。また、今後は議員になった原点の課題である長崎での雇用づくりを積極的に行いたいと思います。これは長崎県の大きな課題の一つであり、長崎市だけではできません。だから今回県政を目指し、市と県がひとつになって取り組めるよう「つなぐ力」となりたい。

子育て支援、女性の健康、就業支援の施策にこれからも積極的に取り組みます！